

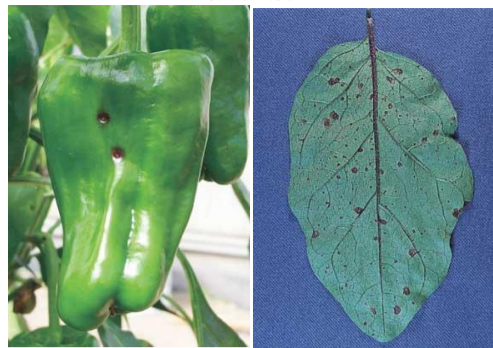
うどん粉病



うどん粉病:糸状菌/子の菌類
葉のおもに表面に、うどん粉のような白い粉を生じる。下位の成葉から徐々に上位葉に進展する。発病のひどいときは葉が枯れ上がり、著しく減収する。病原菌は、子の菌類に属する糸状菌である。分生子は、15~35℃で形成され、最適温度は28℃である。湿度45~85%では分生子が盛んに形成される。

- 対応農薬
- ・ダコニール1000
 - ・トップジンM水和剤
 - ・Zボルドー
 - ・ジーファイン水和剤
 - ・ベンレート水和剤
 - ・ヨネポン水和剤
 - ・トリフミン水和剤
 - ・アミスター20フロアブル
 - ・ラリー水和剤

黒枯病



黒枯病:糸状菌/不完全菌類
最初は紫がかった褐色の点状または丸い病斑ができる。病斑はしだいに拡大して直径0.5~1cmの円斑となり、一枚の葉に多数の病斑ができると落葉する

- 対応農薬
- ・ベンレート水和剤
 - ・ダコニール1000
 - ・ロブラール水和剤
 - ・ゲッター水和剤
 - ・トップジンM水和剤

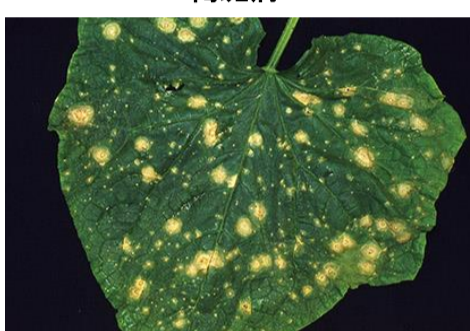
炭疽病



炭疽病:糸状菌/子の菌類
おもに露地栽培で発生する。葉・果実に発生し、とくに熟果の被害が大きい。病患部がややくぼみ、黒い小粒点状の分生孢子堆を形成する。排水不良の圃場に発生が多い。

- 対応農薬
- ・ダコニール1000
 - ・ベンレート水和剤
 - ・Zボルドー
 - ・ジマンダイセン水和剤

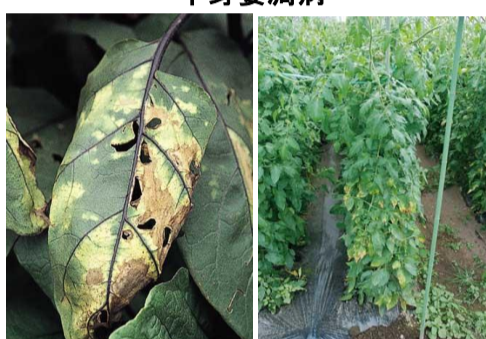
褐斑病



褐斑病:糸状菌/不完全菌類
おもに葉に発生がみられ、最初黄褐色で、ごま粒大の斑点を生じ、病斑はしだいに拡大する。健全部との境界の暗灰色の部分に灰白色の綿毛状のカビ(分生子と分生子柄)を生ずる。本病は相当古くから知られた病害である

- 対応農薬
- ・アミスター20フロアブル
 - ・ダコニール1000
 - ・ゲッター水和剤
 - ・ストロビーフロアブル

半身萎凋病



半身萎凋病:糸状菌/不完全菌類
株の下葉から小葉の葉脈間が褪色し、葉が萎れる症状がでる。葉の症状はしだいに上位葉へ拡大しやがて株が萎凋する。本菌は、ナス科作物のほか、160属350種の植物に感染性を有する多犯性病原菌である。

- 対応農薬
- ・ガスタード微粒剤
 - ・ベンレート水和剤
 - ・バスアミド微粒剤
 - ・トップジンM水和剤

灰色カビ病



灰色カビ病:糸状菌/不完全菌類
果実、花弁、葉などに多く発生するが、茎、葉柄にも発生する。被害部は褐変し、その部分に灰白色のカビを生じ、病勢の激しいときは株全体が枯死する

- 対応農薬
- ・ベンレート水和剤
 - ・ダコニール1000
 - ・ロブラール水和剤
 - ・サンヨール
 - ・トップジンM水和剤
 - ・ゲッター水和剤

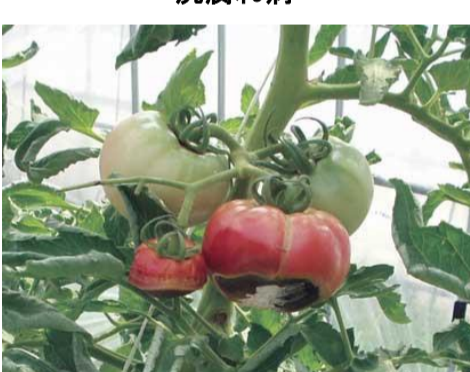
べと病



べと病:糸状菌/そう菌類
比較的温暖で雨の多いときに発生、8月に入ると一時発病は止まるが9月中旬以後の収穫期に再発する。

- 対応農薬
- ・Zボルドー
 - ・ライメイフロアブル
 - ・アミスター20フロアブル

尻腐れ病



尻腐れ病:病となっているが、しり腐病は、果実に発生する生理障害で、症状は果実だけに見られ、果実が指頭大になるころから発生しはじめ、花落部を中心にして暗色のくぼんだ斑点ができる。果実の肥大にともなって、円形のくぼみは拡大し、中央部が淡い褐色から褐色に変色し、やがて黒変腐敗する。

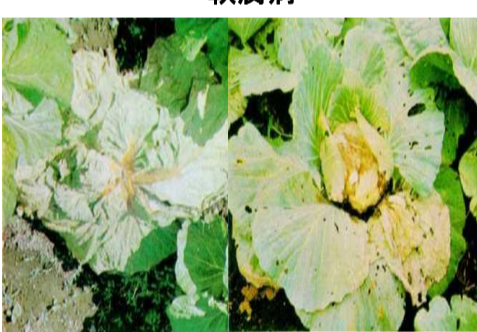
カルシウム欠乏となつてしり腐れが発生することが多い。石灰資材などカルシウム多く含んだ肥料の投入と水分で解消できる。

- 1・消石灰、苦土石灰、カキ殻等
- 2・花枝とは反対側の葉を切り取る。
- 3・適度な水分の確保

通常の畑は十分にカルシウムが含有しているため2、3を行うことで減少する。

- 対応農薬
- ・ネビジン粉剤
 - ・ガスタード微粒剤
 - ・バスアミド微粒剤
 - ・Zボルドー

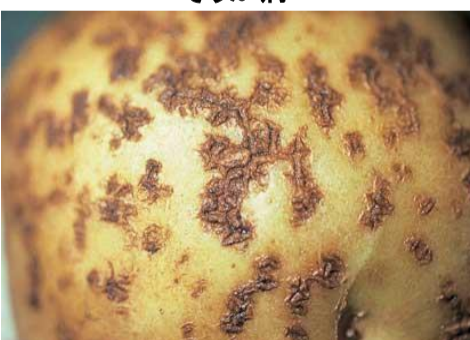
軟腐病



軟腐病:細菌
地面に接する葉柄と根頭部が侵され、葉柄では、その部分が水浸状となる。

- 対応農薬
- ・Zボルドー
 - ・キノンドー水和剤80
 - ・ヨネポン水和剤
 - ・ジーファイン水和剤
 - ・スターナ水和剤

そうか病



そうか病:細菌/放線菌
本病は主として塊茎に病斑を形成するため、激しい場合、食品、食品加工用としての価値を著しく低下させる。本病菌はジャガイモが存在しなくとも、土壌中の腐敗植物体上、他植物の根とともに、あるいは家畜廃物を多量に施した畑土壌などで長期間生存できる腐生型生存菌である。

- 対応農薬
- ・ネビジン粉剤
 - ・ガスタード微粒剤
 - ・バスアミド微粒剤
 - ・Zボルドー

茎枯病



茎枯病:糸状菌/不完全菌類
出芽直後にはじまり、茎表面に水浸状小斑点をつくり、しだいに紡錘形に拡大し、大型病斑(数cm以上)になる。病斑は、茎と枝との分かれ目付近に発生することが多い。

- 対応農薬
- ・アフェットフロアブル
 - ・Zボルドー
 - ・トップジンM水和剤
 - ・ダコニール1000
 - ・ジマンダイセン水和剤

菌核病



菌核病:糸状菌/子の菌類
はじめ一部の茎葉がしおれる。病斑は上下に拡大し、病斑の上には白い綿のようなカビが生える。病斑が茎をとりまくと、そこから上の茎葉は枯れてしまう。

- 対応農薬
- ・ベンレート水和剤
 - ・ゲッター水和剤
 - ・アミスター20フロアブル
 - ・ロブラール水和剤
 - ・トップジンM水和剤
 - ・アフェットフロアブル

★赤字は毒劇物であることを示す

注意事項

病害虫に関する登録農薬情報は、品目により異なりますので使用する前には必ず農薬に記載されている使用内容(使用できる作目、容量、数量、希釈倍率、回数、使用前日数等)を確認して、使用してください。